

# テルモロッシ

## エコサーモ6000      エコサーモ8000

### 取扱説明書

目次：

1. はじめに
  1. 1      ご注意
  1. 2      安全のために
  1. 3      快適なご使用のために
  1. 4      本製品の移動と保管
  
2. 主な仕様
  
3. 基本的なご説明
  3. 1      装置の概要
  3. 2      ペレット（燃料）について
  3. 3      ペレットタンクについて
  3. 4      調節のしかた
  
4. 運転のしかた
  4. 1      点火
  4. 2      燃焼調節について
  4. 3      風量調節について
  4. 4      ストープを消すとき
  4. 5      手動リセットについて
  
5. 組み立て
  5. 1      ストープの設置場所
  5. 2      ストープ本体部分の組み立て
  5. 3      セラミックあるいは鋼板カバーの取り付け
  5. 4      本体上面の組み立て
  
6. クリーニングとメンテナンス
  6. 1      はじめに
  6. 2      ストープのクリーニング
  6. 3      ストープのメンテナンス
  6. 4      リモコンの電池交換について
  
7. 排煙パイプについて
  7. 1      基本的事項
  7. 2      煙突ポットのために必要な要素
  7. 3      建物の換気について
  
8. 排気、排煙について
  8. 1      空気の取り込み口
  8. 2      排煙
  
9. 電気回路図
  
10. 資格を有する技術者のための調整準備

## “CE” マーク安全基準適合宣言

以下の基準にしたがっています。

ヨーロッパ基準	EEC 73/23	その後の修正	93/68	
	EEC 89/336	その後の修正	93/68	EEC
			92/31	EEC
			93/97	EEC

テルモロッシ社（住所：Via Grumolo 4-ARSIERO (VI), Italy）の責任において、エコサーモシリーズのストーブは、CE マークの要求する安全基準に基づいて設計、製造されています。




この宣言は、エコサーモシリーズすべての製品に該当します。

### 1. はじめに

#### 1. 1 ご注意

- この取扱説明書には、重要な注意事項と、製品の取りあつかい方を示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
- 本書をお読みになったあとは、お使いになるかたがいつでもご覧になれるように、必ず保管してください。
- この製品は、本書に記載されている使用方法にしたがって使用してください。それ以外の使い方や、誤った使い方をすると危険です。その際生じた事故や故障は、すべてお客様の責任となります。
- この製品の設置、メンテナンスおよび修理は、専門の技術を持った業者の手で、規格に沿った説明書に従ってとりおこなってください。部品交換が必要な際は、必ず正規の部品を使用してください。
- 誤った設置の仕方や、ずさんなメンテナンスによるけがや器物破損が生じた場合、メーカーはいかなる責任を負いません。
- 製品のクリーニングやメンテナンス作業を行う前には、必ずすべてのスイッチを切の状態にし、電源プラグを抜いてください。
- この製品は、防火設備の整った建物に設置し、電源や排気口をきちんと確保してください。
- この製品を売却または譲渡する時は、この取扱説明書を必ず製品に付属してください。

#### 1. 2 安全のために

- **警告**  この表示の注意事項を守らないと、死亡や大けがなどの重大な人身事故の原因となります。
- **注意**  この表示の注意事項を守らないと、製品の破損や故障の原因となります。
- **重要事項**  この表示は、製品を使用の際、とくに重要な事柄を示しています。

### 1. 3 快適なご使用のために

- この取扱説明書は、製品を正しく使用するために不可欠なものです。ご使用前に、熟読されることをおすすめします。
- 正しい設置、使用、メンテナンスを行うために、必ずこの取扱説明書を熟読してください。
- お客様によって行われた改造は、すべてお客様の責任となります。使用前、使用中の設置と装置の効果的な運転を維持するための保守に必要な操作は、お客様の手にゆだねられます。



#### 注意

この製品は、かならず PE アース (EEC 7 3 / 2 3 スタンダード、EEC 9 3 / 9 8 スタンダードに適用。低電圧電気機器用) に接続してください。設置前に、アース回路が有効であることをお確かめください。電源ケーブルの容量が充分であるかをご確認ください。

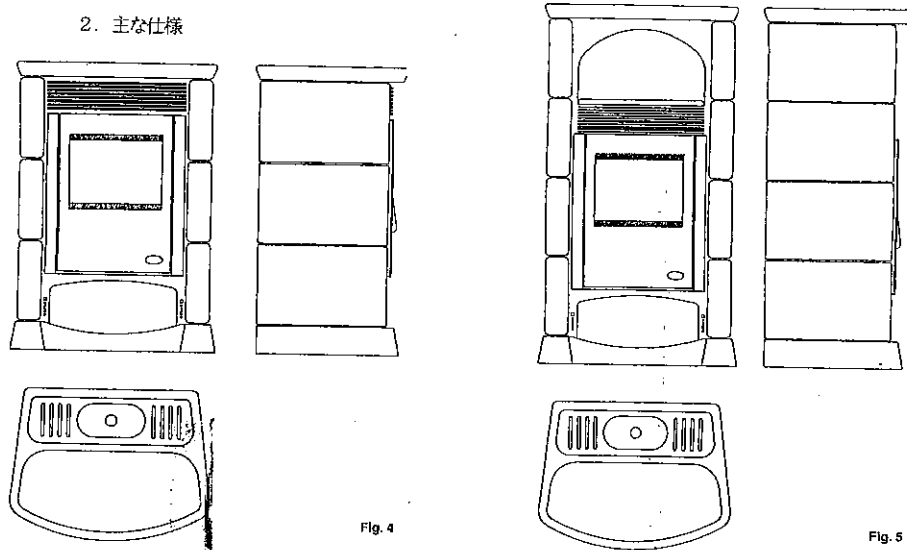
この製品は、正しい電圧のもとで使用してください。

この製品本体は、220-240V、50Hz で作動します。10 パーセント以上高い電圧で使用すると、運転が正常に行われないか、もしくは破損のおそれがあります。日本で使用する場合は 230 / 100V の変圧トランスを介して使用します。

### 1. 4 本製品の移動と保管

- 梱包について  
ストーブ本体とセラミック外装部分は、製品保護のため別梱包になっています。
- 製品を動かすときの注意  
ストーブ本体を移動するときは、必ず垂直状態のまま台車に乗せて動かしてください。その際衝撃を与えないように十分注意してください。ガラスのドア部分は破損しやすいので、特に気をつけてください。
- 保管  
ストーブ本体およびセラミックカバーは、湿気やカビのない屋内で保管してください。直射日光や風雨を避け、また、本体を直接床に置かないようにしてください。
- 梱包を開けるとき  
ストーブ本体を設置場所のそばまで持ってきてから段ボールの保護材をはずしてください。セラミックカバーを開梱し、緩衝材をはずします。  
保管するときは、必ず梱包材、緩衝材で保護してください。

## 2. 主な仕様



	エコサーモ6000の主な仕様	エコサーモ8000の主な仕様
幅	75 cm	75 cm
奥行き	59 cm	59 cm
高さ	103 cm	132 cm
重量 (タイル・鋼板)	206・186 kg	233・207 kg
暖房能力	3.1~11 kw	3.1~11 kw
排煙口の直径	80 mm	80 mm
排煙口の場所	本体の背面	本体の背面

## 3. 基本的な説明

### 3. 1 装置の概要

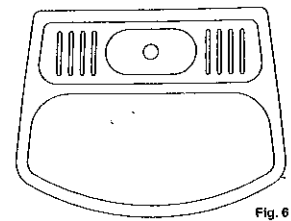
- ・ このストーブは、暖房能力と、使いやすさの両面において、大変優れた製品です。
- ・ ストーブの燃料である、おがくずを圧縮したペレットは、運転時に手でくべる作業の必要がありません。各燃焼段階においてすべてオートマティックです。
- ・ 騒音を最小限に抑さえた送風ファンの使用によって、効率よい暖房効果が得られます。

### 3. 2 ペレット燃料について

- ・ ペレットは、圧縮されたおがくずまたは木の切りくずで、直径6 mm~10mm、長さは40 mm以下です。水分の含有量は8%以下、熱量は4000~4500 Kcal/kgで、その密度は620~630 Kg/m<sup>3</sup>です。
- ・ 標準的な木材は、水分の含有量10~20%におよび、熱量は2500~3500 Kcal/kgと小さいので、この製品への使用には適しません。
- ・ 注意  
上記に特定した燃料以外のものを使用した場合、保証はいたしかねます。

### 3. 3 ペレットタンクについて

- ペレット収納器は、ストーブの上面奥にあります。
- 燃料補充は上部の鋳物製カバー全体をはずして行ってください。
- エコサーモ6000では、約23kgまで、エコサーモ8000では、約53kgまで燃料を充填することができます。



### 3. 4 調節のしかた

- この製品には、2種類の調節機能があります。

#### 風量調節

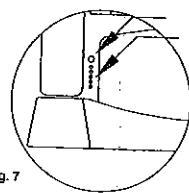


Fig. 7

赤色ボタン  
LED

左側

#### 燃焼調節

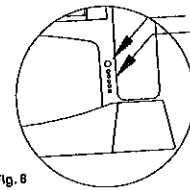


Fig. 8

赤色ボタン  
LED

右側

- 運転開始後、まず、風量調節を行います。熱交換パイプから、温風をパワフルにふき出します。調節ボタンは、本体の正面左下にあります。ボタンの下にある、緑色のLEDライトは、点灯の数によって風量の強さを表します。

ライトが1つ点灯しているとき：風量は弱（最小）です。  
ライトが2つ点灯しているとき：風量は中です。  
ライトが3つ点灯しているとき：風量は強（最大）です。

この操作は、付属のリモコンでも行うことができます。

- 次に、燃焼調節（火力調節）を行い、暖房運転を開始します。本体の正面右下にある、赤色の調節ボタンを使用します。LEDライトの点灯の数が増えるほど、設定温度が高くなり、その分のペレットが燃焼室に投下されます。すべてのLEDライトが点灯しているとき、燃焼は最大となります。この操作は、付属のリモコンでも行うことができます。

#### 注意

点火時、ストーブ左側の緑色LEDライトが点灯します。本体が40℃以上になると、送風を開始します。

### 4. 運転のしかた

#### 4. 1 点火

- ストーブの使用を開始する前に、可動部分（特に集灰用の引き出し）はすべて正しい位置にあるか確認してください。また、ラベルやカバー類はすべてはがしてあるか、確認してください。ラベル類をはがさずに使用すると、本体に跡が残る場合があります。

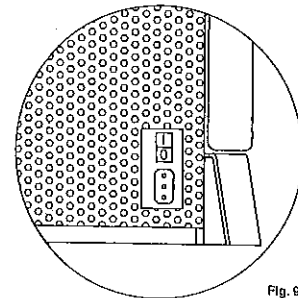


Fig. 9

- 電圧を確認してください。日本では、100V、50・60Hzの電流に適応します。ストーブ裏

- 電圧を確認してください。日本では、100V、50・60Hzの電流に適応します。ストーブ裏面のスイッチを、I印に合わせてください。
- 点火の際は、まず、ストーブ右側のボタンを押してください。すると、真ん中のLEDライトが点滅します。ヒーター加熱し、ペレットが燃焼室に送り込まれ、燃焼を開始します。



**注意**

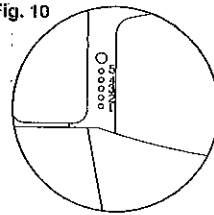
運転開始後20分間は真ん中のLEDライトが点滅し、その間燃焼調節機能は働きません。点滅しているライトが消えたら、燃焼調節ができるようになります。

**注意**

点火時、ストーブ左側のみどり色のLEDライトが点灯します。本体が40℃以上になると、送風を開始します。

4. 2 燃焼調節について

Fig. 10



- このストーブは、5段階の燃焼調節ができます。どの強さにセットされているかは、5つのLEDライトによって確認することができます。
4. 2. 1. 弱 (最小段階) のとき  
LEDライトは1つだけ点灯します。最小限のペレットを供給します。この段階ではペレットは最少消費量にて燃焼します。
  4. 2. 2. 強 (最大段階) のとき  
LEDライトは5つ全部点灯します。燃焼力はピークに達しますので、この状態での長時間の運転はしないようにしてください。
  4. 2. 3. 中 (中間段階) のとき  
2番目、3番目、4番目にセットされているとき、その数のLEDライトが点灯します。数が増えるにしたがって火力は強くなります。

4. 3 風量調節について

送風調整

- 送風ファンは、本体が40℃以上になると運転を開始します。3段階の調節が可能です。

- 1° 風量 弱 (最小)
- 2° 風量 中
- 3° 風量 強 (最大)

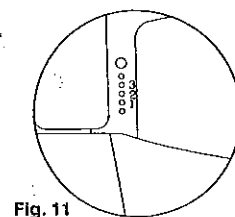


Fig. 11

4. 4 ストーブを消すとき



ストーブを消すときは、赤いLEDライトが全部消えるまで、繰り返し本体右側のボタンを押してください。(または同じ操作をリモートコントロールにて行ってください。)10秒後、ストーブは運転停止段階に入り、ペレット供給用スクリューが止まります。ストーブ内のサーモスタットが感知し、内部に残った燃料を使い切るまで、排煙送風機が数分～2時間作動します。

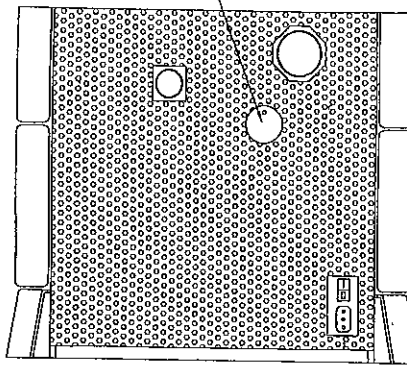
**警告**

ストーブが運転停止段階のとき、絶対に電源を抜かないでください。

燃焼室内が高温になりすぎると、内蔵のサーモスタットが働き、145℃に下がるまでペレットの供給を自動的にストップします。この機能は、ファンヒーターの故障や燃料の過給などによるオーバーヒートを防ぐために絶対に必要なものです。

温度が正常範囲内に戻ったら、ストーブ背面にあるリセットボタンを押してストーブを再稼働させてください。リセットボタンの位置は、下の図を参照してください。

Fig. 12



## 5. 組み立て

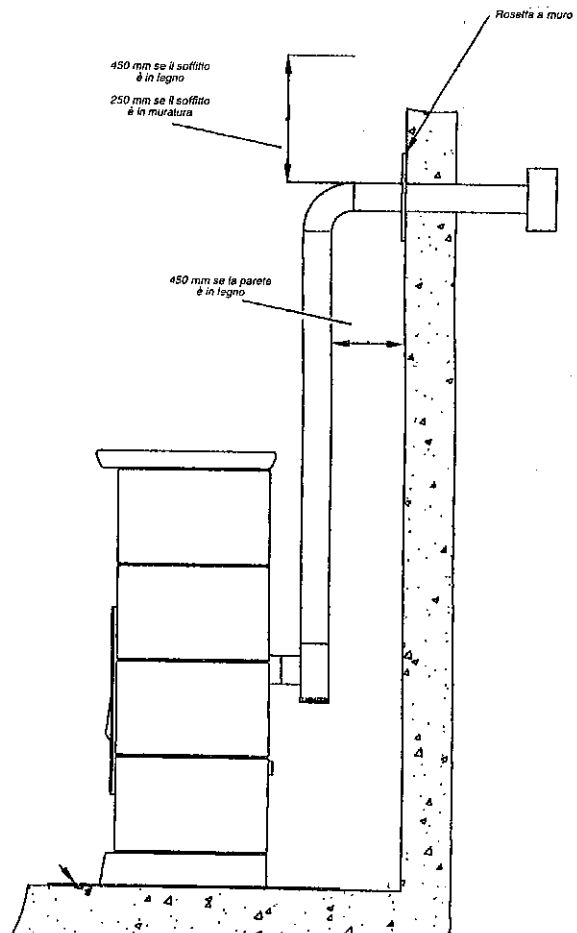
### 5. 1 ストーブの設置場所

- まず、この取扱説明書の1章の「1. 1 ご注意」の項をよくお読みください。
- 設置するフロア面がストーブの重量に充分耐えられるかどうか、設置前によくご確認ください。
- 警告：極端に風通しの悪い部屋や、換気のできない部屋には絶対にこのストーブを設置しないでください。

このストーブは1時間あたり35立方メートルの新鮮な空気が必要とします。また、燃焼に必要な空気は本体背面のパイプから供給されます。内部から空気が出てくる発生する場合に備えて、ストーブを正しく運転し、きちんと機能しているかどうかを常に確認してください。室内の換気とペレットの燃焼を同時に行うと、有害な排煙が室内に逆流する危険性があります。このような事態を未然に防ぐためには、禁止装置（換気装置とエコサーモの切り替え器）のご使用をお勧めします。

かべや、周辺の家具などから十分な距離を取って設置してください。カーテンや布張りソファ、木製の家具など可燃物には特に余裕を持って距離を取ってください。

ストーブ側面および背面は、最低限20cm以上の隙間を確保してください。またストーブ前面は、最低80cm以上の間隔が必要となります。



カーペット敷など可燃性の床、またはフローリングの床の場合は、金属製の保護シートなど不燃性の保護材を床に敷いてから設置してください。保護材は、ストーブ前面より50cm以上、両側面より30cm以上の大きさがが必要です。

排煙パイプの取り付けについては、本書の7章をお読みください。

### 5. 2 ストーブ本体部分の組み立て

- ・ ストーブを設置場所に置いて、本体部分の組み立てを、下図に従って行います。

脚部の組み立て

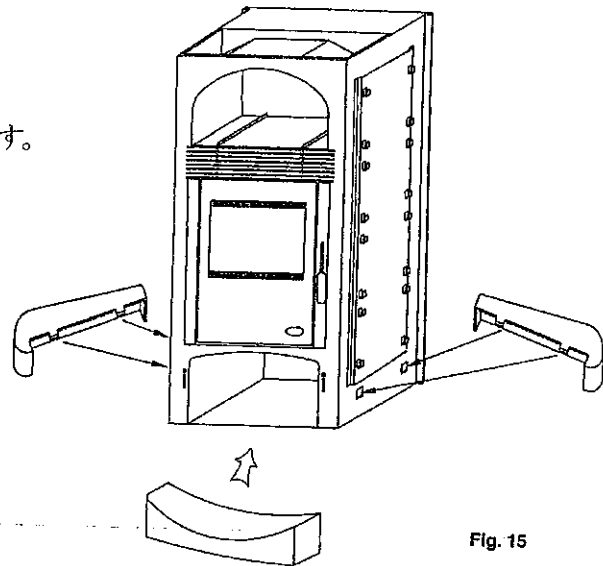


Fig. 15

### 5. 3 セラミックあるいはステンレスカバーの取り付け

- ・ 本体部分の組み立てが完了したら、本体側面に8箇所（エコサーモ6000は6箇所）、セラミック部品を取り付けます。このセラミック部は工業技術と伝統工芸の両面においてたいへん優れた製品です。最新のCADシステムによりデザインされた鋳型を使用し、製造工程および釜入れ作業はすべてコンピューター制御によって管理され、セラミック本来の芸術性を損なったことはありません。（むしろ高めているといえます。）

専門家の手によって配合された、完璧なバランスの土、水、そして火のコンビネーションにより作り上げられたこの製品は、ひとつとして同じものがない、ユニークで個性的な仕上がりになっています。そして、1000度以上の高温で火入れされることにより微細な粉は釉薬をかけたセラミックになり、それぞれが微妙に異なるフォルムやカラーを持った製品に仕上がります。

これらの違いは、鋳型内のわずかな亀裂と同じでセラミックの品質にはまったく影響ありませんし、かえってこの製品をユニークなものにしています。

破損を避けるために、このセラミック部は個別包装されています。



警告：この組み立て作業は、必ず有資格者の手で行ってください。

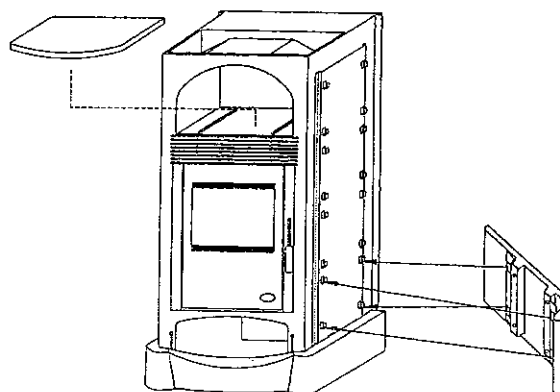


Fig. 16



セラミック部にはストーブ本体に取り付けるための張り出しがついています。以下のように、本体側面にセラミックを取り付けてください(エコサーモ8000にはコンロスペース用皿が附属しています)：

まず、このセラミック製皿(図の左側)を取り付けます。そして、側面のセラミックは、下部から上部へと取り付けを行ってください。

ステンレス板の取り付け(セラミック板の場合は含まれません。)

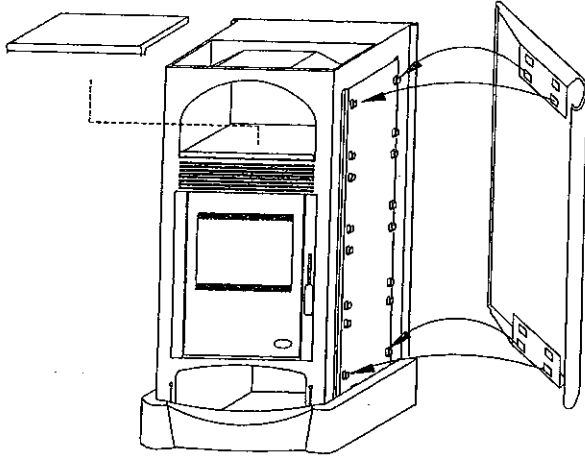
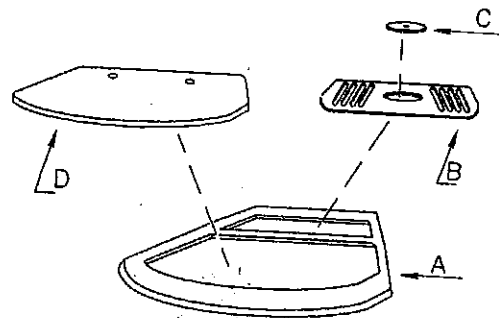


Fig. 17

5. 4項の図 A.B.C.D の部品を取り外します。ステンレス板の場合は、保護フィルムをはがしてください。右側、左側のパネルをフック部に合わせて取り付けます。本体にしっかり取り付けられているか確認してください。そして先ほど外した部品 A.B.C.D を再び取り付けます。

#### 5. 4 本体上面の組み立て

- 本体上面の部品を取り付けてこの製品は完成します。



上部枠組みと陶器カバーの組み立て

Fig. 18

図を参照して、以下の順序で取り付けを行ってください。

- 一部品Aを取り付けます。(この部品ははめ込み式ではなく、本体上部に乗せるだけです。)
- 一部品Bを取り付けます。(この部品もはめ込み部はありません。)
- 一部品C(締め切りキャップ)を取り付けます。
- 一上面用セラミックDと、2つの錫製ノブEを取り付けます。

## 6 クリーニングとメンテナンス

### 6.1 はじめに

警告：いかなる作業でも始める前に、必ず電源プラグを抜いてください。



エコサーモは特殊なメンテナンスが必要な製品ではありません。いつでも適正な動作、運転を行えることを保証するための、簡単なチェックと基本的なクリーニングをこまめに行うだけで充分です。

### 6.2 ストープのクリーニング



3日おき、またはペレットを補充するときに、暖炉の下部にある集灰用引出しC（大）、B（小）の中の灰を、以下のやり方で取り出して捨ててください。

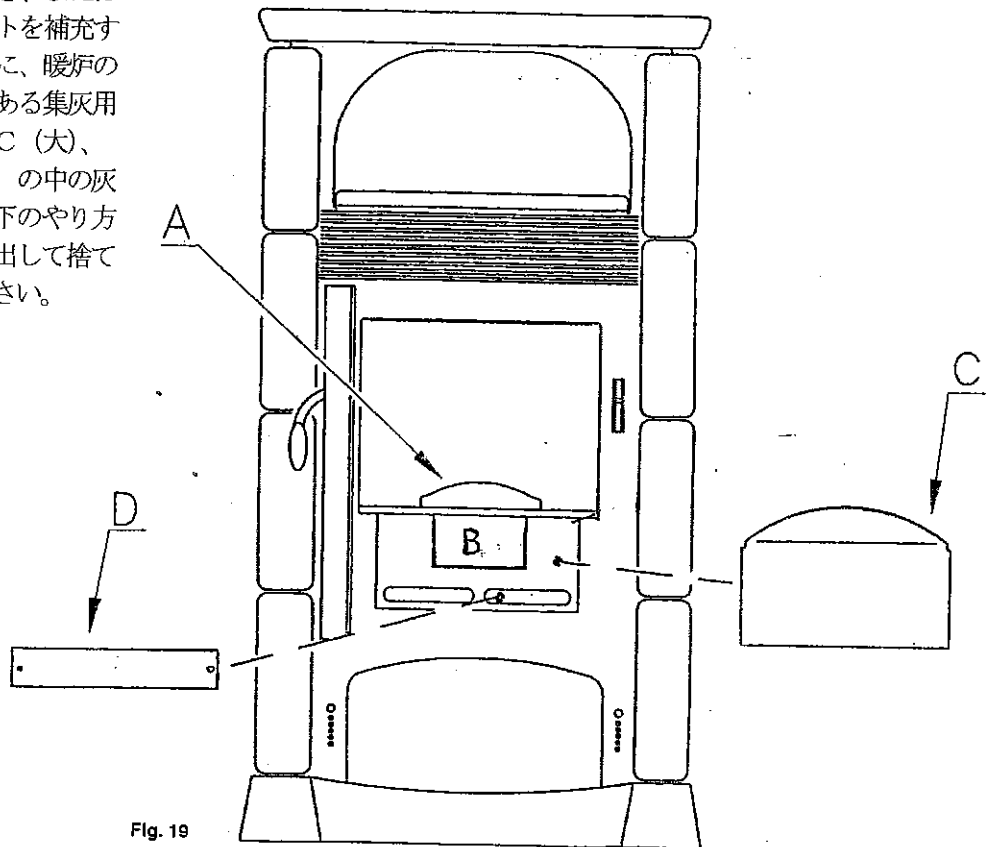


Fig. 19

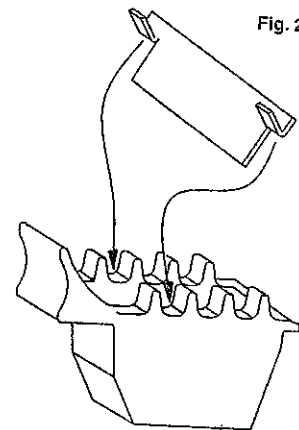


Fig. 20

暖炉のドアを開けて、鋳物製燃焼皿を取り出し、ボックス B 中の灰を掃除機で吸い出します。  
引き出しを取り出し、よく清掃します。  
清掃後、すべての部品を元の位置に正しく組み込みます。  
更に、右図のようにコンロに板を置きます。



注意：このクリーニングによって、熱風の通風孔への流れを確実にします。  
掃除機を使用すると、灰のクリーニングを簡単に行えます。

ガラス部のクリーニングは、濡らした布または丸めた新聞紙を使って、灰が落ちてきれいになるまで磨いてください。サーモロッシ洗剤のご使用をおすすめします。ストーブのスイッチが入っているときは、ガラスの掃除をしないでください。



3, 4日に一度、ストーブを運転していない時に、チューブブラシを1, 2度上下させて(右図を参照)クリーニングを行ってください。

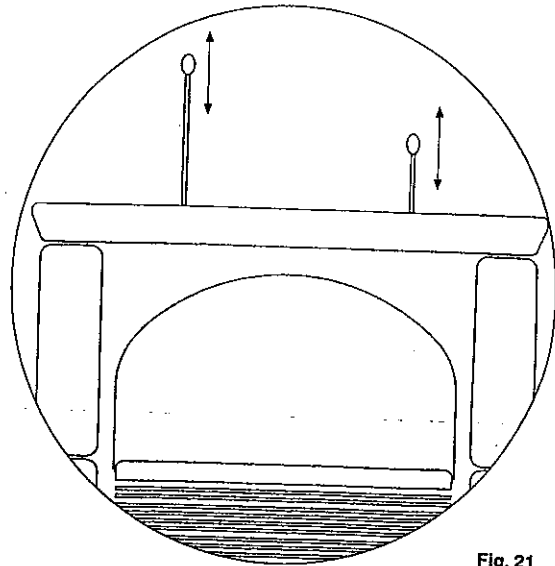


Fig. 21

### 6. 3 ストーブのメンテナンス



1ヶ月に一度、あるいは必要なときにいつでも、チューブブラシで集めた灰の入った引出しDをきれいにしてください。引き出しDは、そこにある3つのねじをはずすと取り外せます。

- 1ヶ月に一度、ドアがきちんと閉まり、空気漏れがないことを確認してください。
- 冬が終わったとき、あるいは必要なときはいつでも、ブラシと掃除機を使ってエコサーモの燃焼室をクリーニングしてください。
- 少なくとも1ヶ月に一度は、排煙パイプが灰で詰まっていないかを確認してください。
- 少なくとも年に2度は、煙突のクリーニングを行ってください。もし水平部分があれば、灰やすすが溜まっていないかをチェックし、排煙がとどこおらないようにきれいにしてください。

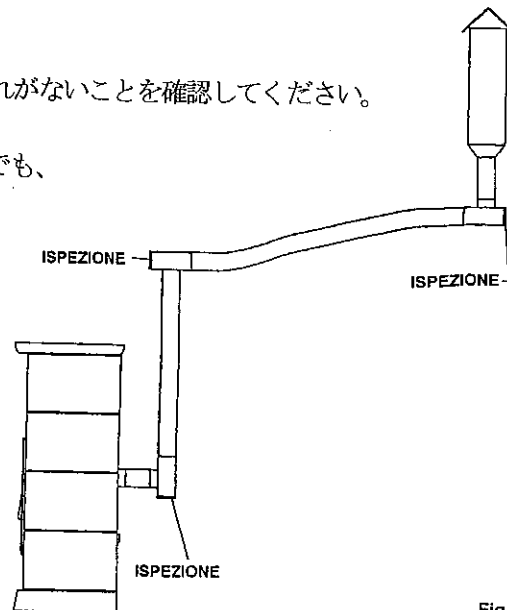


Fig. 22

### 6. 4 リモコンの電池交換について

リモコンのボタンを押しても反応がない(赤いランプが点灯しない)ようなら、電池交換を行ってください。ドライバーを用いて電池ケースのふたを開け、23A12vの新品の電池に交換してください。

電池の+を入れ間違えないようによく注意してください。使用後の電池は、正しい方法で捨ててください。

## 7. 排煙パイプについて

ストーブの排煙口は、接続パイプできちんと煙突につなげてください。

パイプ内のガスや排煙が漏れることの絶対ないように、確実に接続してください。

煙突および接続パイプの規格は、以下のDIN4705に一致することを確認してください。

- ガス送管温度 220°C
- ガス送管の送量 13.2g/s
- ガス送管の通風量 0.10mbar

## 8. 排気、排煙について

### 8.1 空気の取り込み口

- 燃焼に必要な空気は、 $\phi 40\text{ mm}$ の後部に位置するパイプを通して取り込まれます。内部で排気されますので、本書7章を注意深くお読みになることをお勧めします。右図に示されるように、延長パイプ（附属品ではありません）を使用して排気口に接続することも可能です。

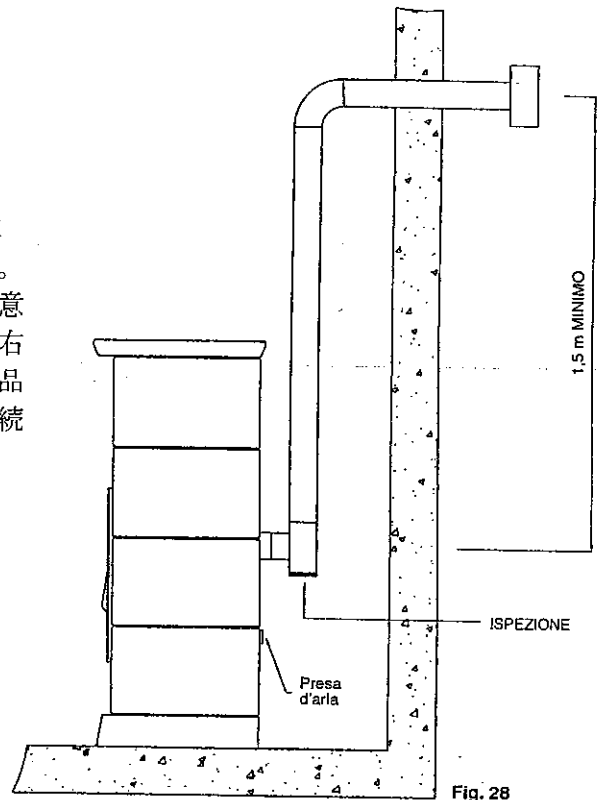
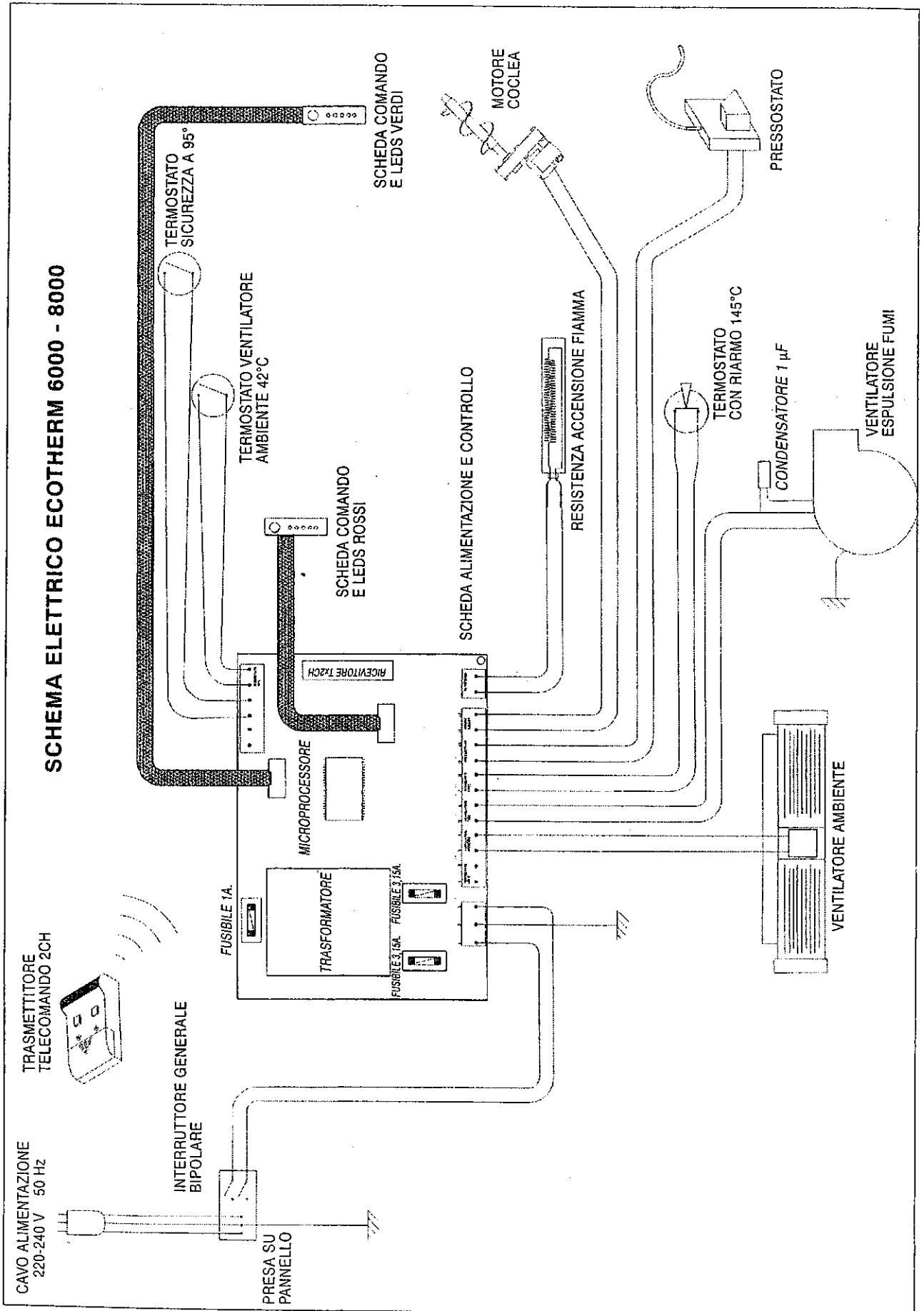


Fig. 28

## 8. 電気回路図



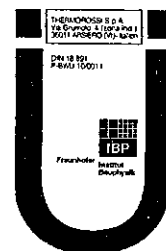
## 9. 資格を有する技術者のための手引き (調整準備? 予備知識?)

### 構造とその働きの概要

- サーモスタットの手動リセット:  
ストーブが過熱しすぎると、ペレットの燃焼室への供給をストップする安全装置です。
- プレッシャースイッチ:  
スクリーフィーダー (螺旋状燃料供給用) モーターをストップすることができる安全機能です。煙突や排煙パイプをふさぐことができます。
- スクリーフィーダーモーター:  
オン/オフの操作は、マイクロプロセッサによってコントロールされています。  
以下の条件のとき、スクリーフィーダーモーターは作動しません。
  - 温度が 145°C まで上昇してサーモスタットが作動し、手動リセットの状態になっているとき。
  - プレッシャースイッチにより、排煙パイプがふさがれているとき。
  - 装填されたペレットの残量が少なくなったとき。
  - ストーブが停止段階のとき。
- 風量調節機能:  
サーモスタットが 40°C を感知すると自動的に作動します。そして、燃料の量がなくなるとき、またストーブが停止段階のときには、停止します。
- 排煙ファン:  
点火と同時に作動します。作動後 2 分間は、排煙パイプ内をきれいにするため、最大で運転します。その後は、自動調節で運転されます。排煙を完全に排出するため、また機器の安全のために、ストーブ消火後約 1 時間、排煙ファンは運転を続けます。サーモスタットが 40°C を感知した 30 分後に停止します。
- サーモスタットが 40°C のとき:  
この機能は以下の理由により、なくてはならないものです。  
ストーブの着火と運転サイクルの継続に対応する閉接点、同様に、排煙管を切る開接点。

### 仕様

		エコサーモ 6000	エコサーモ 8000
熱量	Kw	3.1/11	3.1/11
排ガスパイプ直径	mm	80	80
排ガス口の場所		後ろ	後ろ
一次空気		●	●
二次空気		●	●
ペレットタンク容量	kg	23	53
ペレット消費量 (ノ/h) (最少/最大)	kg/h r	0.8/2.4	0.8/2.4
続使用可能時間 (最少で運転時/最大で運転時)	時間	29/10	60/23
リモコン		2 c h	2 c h
3 段階調節可能な換気扇		●	●
セラミックカバーのカラーバリエーション		●	●
タイルシリーズの重量		206	233
ステンレスシリーズの重量		186	207



仕様については予告なしに変更することがあります。



## 保証書

この製品の保障期間はご購入日から1年間です。

製造会社、輸入元および販売店は、エコサーモの全体の状態、製品、使用部品にいかなる欠陥もないことを保証します。

保証書を使う際は以下のことを行ってください。

- ー 領収書、銀行振り込み記録などにより、ご購入年月日を明示してください。
- ー 保障期間内に故障が生じたり、破損や欠陥が見つかった場合は、お客様のお名前、住所、電話番号、ご購入年月日、エコサーモの型番、トラブルの状況およびストーブの設置・運転状況を販売店にお知らせください。

販売店がある場合は欠陥または故障の状況を調べて、報告書を作成します。輸入元・販売店は故障の内容が保証書によってカバーできるかどうかを確認した上で、無料修理・交換を行います。

### 保証条件について

- 1) 輸入元は、エコサーモの構成部すべてにおいて（消耗品を除く）、ご購入年月日から1年間保証します。
- 2) 消耗品に関しては、不良品の場合を除いて、保証の対象にはなりません。よって、以下の部品は保証外になります：ガスケット、燃焼方向制御板、接続部品、グリル、ガラスドア、耐熱セラミックプレート。
- 3) 保障期間内に破損もしくは欠陥が見つかった場合、販売代理店に点検を依頼してください。設置業者により不備が確認された場合、必要な部品交換などはすべて無償で行われます。
- 4) この保証書は、本製品をご使用のお客様にのみ有効です。権利の譲渡はできません。また、エコサーモの過熱しすぎによる損傷は、保証の対象外になります。ストーブの誤った設置や使い方および、温度によるストーブ表面への影響についても、保証の対象外になります。
- 5) 保証金額は、本製品の購入代金を上限とします。製造会社・輸入元は、修理または欠陥部品の交換でお客様に補償します。

注意： ご購入者は、保証書がいつから効力を発揮しているかを証明するために、ご購入年月日が明記された領収書あるいは送金レシートを必ず保持・保管してください。

ご購入年月日：

コピーして輸入元へ送ってください。

ストーブモデル： エコサーモ8000

お客様のお名前

ご住所

日付

お客様のサイン